

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ファッションスタイリング・コーディネート Fashion Styling and Coordination		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(特になし)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
ファッション関連科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ファッションアドバイザー				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
阿部 芳子	授業内で指示します	授業内に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
人と物のマッチング「似合う」ということを、色・形・素材・内面から学びスタイリング提案のメゾットとして考え、コーディネートスタイリングマップを学ぶ。また、「なぜ似合うのか」「なぜ似合わないのか」を論理的に分析・分類し言葉できちんと説明できる知識を得る。				
授業の目標				
① 4種類の分析・分類をできるようにする。 ② パーソナル、コーディネートスタイリングマップを製作できるようにする。				
授業の方法				
講義、コーディネートスタイリングマップ製作				
学習の成果（学習成果）				
① パーソナル、コーディネートスタイリングマップを製作できる。 ② 「なぜ似合うのか」「なぜ似合わないのか」を言葉できちんと説明できる。 ③ アクセサリーと雑貨デザイン、製作、ブランド立ち上げについて立案できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業の進め方、評価方法など）、セルフチェック			
第2回目	コーディネートスタイリングマップの基本			
第3回目	色の知識と効果			
第4回目	ファッションコーディネートの基本①（コーディネート5W3H）			
第5回目	ファッションコーディネートの基本②（色の組み合わせによるコーディネート）			
第6回目	ファッションコーディネートの基本③（素材の組み合わせによるコーディネート）			

第7回目	ファッションコーディネートの基本④（イメージの組み合わせによるコーディネート）	
第8回目	ファッションコーディネートの基本⑤（ライフスタイルによるコーディネート）	
第9回目	流行について	
第10回目	商品知識	
第11回目	コーディネートスタイリングマップ製作①	
第12回目	コーディネートスタイリングマップ製作②	
第13回目	コーディネートスタイリングマップ製作③	
第14回目	コーディネートスタイリングマップ製作④、プレゼンの説明	
第15回目	コーディネートスタイリングマッププレゼン（レポート提出）	
事前・事後学習	日頃から雑誌等に目を通し流行に敏感になる習慣をつける。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	遅刻・欠席がなく積極的に授業に参加しスケジュール通りに製作できるか。
レポート	40%	コーディネートスタイリングマップを理解し製作できているか。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	30%	「なぜ似合うのか」「なぜ似合わないのか」をきちんと説明できているか。
その他		
教科書と参考図書		
教科書：なし（必要に応じて資料を用意する）		
履修上の留意点・ルール		
欠席、遅刻は原則認めない。忘れ物も減点の対象となる。 授業内の製作材料（ブックの材料）は自己負担。		